

「三つの学び」の姿を引き出すための年間指導計画・単元計画・授業計画を考える際のポイント

	a 「主体的な学び」の姿を引き出すために	b 「対話的な学び」の姿を引き出すために	c 「深い学び」の姿を引き出すために
A 年間指導計画	<p>①子どもの実態や興味・関心に応じた単元設定</p> <p>②地域の物的資源や学校の特色を生かした単元設定</p>	<p>①人との関わりのある活動が保証された単元設定</p> <p>②生活年齢に応じた地域の人的資源を生かした単元設定</p>	<p>①単元間の関連性や学びの系統性、偏りのない学習内容を大切にしたい単元設定・単元配列</p> <p>②他教科等の年間指導計画との関連性を考慮した単元設定・単元配列</p>
B 単元計画	<p>①実際の生活と結び付き、子どもの実態や興味・関心に応じた課題設定</p> <p>②実物を活用したり、体験的な活動を取り入れたりする単元展開</p> <p>③単元を通して子どもの思考が途切れない工夫</p> <p>④子どもの実態に応じた教材・教具の活用や開発（ICTの活用を含む）</p> <p>⑤達成感や充実感を味わえる単元展開</p>	<p>①子ども同士の協働がある課題設定や単元展開</p> <p>②子どもの実態に応じた様々な人と関わる場面や、対話できる場面が設けられた単元展開</p> <p>③人との関わりに必然性のある単元展開</p>	<p>①各教科等で学習したことや身に付けた知識・技能を活用する課題設定や単元展開</p> <p>②目標の達成や課題の解決に向け、子どもの思考の流れに沿った単元展開</p> <p>③単元での学びを振り返りつつ、実際の生活に生かそうとする意欲を高める単元展開</p> <p>④成長を実感できる単元展開</p>
C 授業計画	<p>①授業の目標や学習活動に見通しを持つための支援の工夫</p> <p>②直接的な支援を最小限にする状況づくりの工夫</p> <p>③「なぜ」「何のために」学習するのかが分かる支援の工夫</p> <p>④目標を達成するための教材・教具の工夫</p> <p>⑤できたことや分かったことに気付く振り返りの工夫</p> <p>⑥次時への意欲や期待感を高める振り返りの工夫</p> <p>⑦効果的なICTの活用</p>	<p>①教師や友達と関わる活動や場の設定</p> <p>②言葉や身振り、文字、絵、カード、ワークシートなどの多様な手段を用いて、考えや気持ちを表現する活動の設定</p> <p>③子どもが相互に活動の様子を見合うことができる環境設定の工夫</p> <p>④子どもの実態に応じた、子ども同士の関わりを促す支援の工夫</p> <p>⑤子どもが相互に思考を深められる学習グループ構成の工夫</p> <p>⑥自分の考えと友達のを比べたり、活動を振り返ったりするための、子どもの思考を可視化する工夫</p> <p>⑦効果的なICTの活用</p>	<p>①学んだことを自分なりに表現することができ振り返りの工夫</p> <p>②学んだことを基に新たな課題を持つことができる振り返りの工夫</p> <p>③成長を実感できる自己評価・他者評価の工夫</p> <p>④子どもの行動を日常生活と結び付け、「なぜ」「何のために」するのか意味付けたり価値付けたりする工夫</p> <p>⑤子どもがより考えようとする発問や言葉掛けの工夫</p> <p>⑥子どもが自ら考えたり、判断したりして、課題解決ができていく教具や場の設定の工夫</p> <p>⑦効果的なICTの活用</p>

*教材：学習目標を達成するための材料（内容） 教具：教えるための道具。学習効果を上げるために用いる道具